

第106回全国高等学校野球選手権予選結果報告

硬式野球部

☆ 暑中お見舞い申し上げます。

中学三年生の皆さんは、高校入試に向けての準備に余念のないことと拝察します。内申を一つでも上げて、自己の進路の可能性を切り拓いてください。

☆ 「第106回全国高等学校野球選手権大会東京予選」が7月7日から開幕しました。本校の結果をここにご紹介致します。3試合のうち2試合は地元・府中市市民球場で多くの観客のもとでおこない、また2試合は大学付属私立との対戦で、さらに多くの観客のもとで試合をおこなえました。

☆ 7月10日 2回戦 VS 都福生 多摩一本杉球場 2：18

相手はスポーツ推薦実施校。春の練習試合では2－8、1－7で連敗しています。本校のスターティングメンバーは、3年生2名、2年生5名、1年生2名で、背番号十番台がバッテリーを含めて5名というフレッシュなものでした。先発投手は2年生（多摩市中体連出身）で、公式戦初登板初先発ですが、2失点で完投。1年生遊撃手（軟式クラブチーム出身）の二塁打2本の活躍もあり勝利しました。

				得点	安打	四球	三振	盗塁	失策
福 生	1 0 0	0 0 0	1 0 0	2	7	3	5	0	0
府中東	0 0 4	0 0 0	0 1 ×	5	9	6	6	0	2

☆ 7月13日 3回戦 VS 中大付 府中市市民球場 2：07

相手は初戦で都立スポーツ推薦校を破り、監督が「甲子園塾」経験者という学校です。土曜日で、相手は大学付属校ですので大応援団が来ていました。本校は3年生左腕（府中市中体連出身）が先発。初戦では不出場の三年生捕手（ポニー出身）のバッテリー。1番打者（三鷹市中体連出身）が初戦と合わせて10打席9出塁の大活躍。二桁安打で5回までに7点差をつけました。6回到3点を返され、初戦で先発した2年生投手に継投し、7回以降を0点に抑えました。この勝利で2年ぶりのベスト32進出です。

				得点	安打	四球	三振	盗塁	失策
中大付	0 0 0	0 0 3	0 0 0	3	6	5	5	1	4
府中東	2 2 2	0 1 0	0 0 ×	7	10	7	1	6	3

☆ 7月17日 4回戦 VS 日大二高 府中市市民球場 2：14

相手は秋季都大会で横綱・二松学舎を破り、ベスト4に進出し、センバツ推薦候補校になった優勝候補の一角です。1・2番打者は東京でもナンバー1を自負する俊足で、クリーンアップも強力な打線です。本校は中大付と同じ3年生バッテリーで臨みましたが、この大一番でも2年生5名、1年生1名、背番号二桁3名がスタメンでした。5点勝負という想定で臨みましたが、相手盗塁はゼロ、長打もゼロとよく守り4失点に抑えました。しかしベストメンバーで来た相手の背番号1をとらえ切れず、あと一歩でした。

				得点	安打	四球	三振	盗塁	失策
日大二	0 1 0	0 0 2	0 0 1	4	8	8	3	0	2
府中東	0 0 2	0 0 0	0 0 0	2	3	1	11	0	1

